

へん が く

扁額

高い位置に掲げられている額、あるいは看板のこと



校長室の西側に位置する扁額

かつて本校の教頭先生だった下里殖先生（私は高一の時に数学を教わった）が、ご退職の折に、雑誌「ふかし」に由来を細かく記述されていたので、今回はその資料を参考にしました。

ま

ご

う

揮毫

毛筆で文章や言葉を書くこと。毫（ふで）で揮（ふる）うこと

揮毫の上の横の線は、講堂のバトンです。



説明内容の出典は、**同窓会ホームページ、「とんぼのめがね」第97号**

深志高校の様々な調査記録を担当されていた小松芳郎先生が、本校旧職員で「賛歌 深志百年」の作詞者でもある小林俊樹先生(コバシユン)の研究調査記録をもとに、「とんぼのめがね」に記述されたものから今回のお話を構成いたしました。

この2枚の絵画はどこに掲げられているか、わかりますか。



「穂高岳」

「太平洋の波」

深志7代校長の小原元亨先生の厳父である小原福治（雅号：小原湧泉）
先生の作品

昭和24年、「起居有禮」の掲揚とほぼ同時に掲揚された。湧泉先生の「深
志に託した夢」とは何なのだろうか。

揚雲雀

母校はいまも

山を背に

筑邨



